

切除不能  
肝細胞癌

## ニボルマブ療法レジメン(4週毎)

全身化学療法歴のない切除不能な肝細胞癌 ※A-17の維持療法

A-19

<28 日 間 隔 ・ 最 長 2 年 間 >

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4~7日目	第8~28日目	第29日目
治療内容							
検査	採血	○					○
	胸部X線	○					○
診療	副作用の問診	○					○
	検査結果	○					○
治療中止基準	①G2以上の肺臓炎 ②副腎クリーゼの疑い ③G3以上の皮膚障害・神経障害 ④AST、ALT>3×ULN ⑤T-Bil>1.5×ULN ⑥Cr>1.5×ベースライン ⑦G2以上の下痢 ⑧自己免疫疾患の発症疑い	—	—	—	—	—	—
点滴	① 生食 50ml 点滴静注【全開】	↓					↓
	②生理食塩100ml +オプジーボ 480mg 点滴静注【30分】 全量100mlとする。 フィルター付きルートで	↓					↓
	③ 生食 50ml 点滴静注【全開】	↓					↓

### 看護のPoint!!

免疫調節薬であるので、免疫関連の副作用が起こる

Infusion reactionに注意

主な副作用は皮膚障害、甲状腺機能低下、下痢、間質性肺炎

下痢の時はステロイドを使用（止痢剤ではない。大腸炎のため）